

池田町の財政（「町の借金」編）

勝山町長は「実質公債費比率」を減らしたことを「実績」のひとつにあげています。この問題について、町政研究会代表の村端浩さんに聞きました。

累積債務は減少の過程に

借金の累積額を「町債現在高」といいます（下のグラフ）。

これは、一般会計の「地方債現在高」と下水道会計などの「特別会計現在高」の2つで構成されています。平成23年度末でほぼ110億円です。このままでは子・孫の世代まで長期間返済が続いていくということを意味します。

くりしてしましますが、過去のハコモノの建設や平成11、12年の下水道処理施設の建設などで借金が累積したものです。

大型の公共事業が終了した平成13年以降は前町政のもとで地方債現在高は順調に減少、あと20年もすれば償還できる見通しになっていました。

現町政で事情が変化？

ところが、勝山町政になってからかなり事情が変わってきています。

下の表をご覧ください。

年度ごとの新たな借金（地方債）と返済額（公債費）との差が現町政になってから極端に小さくなっています。

つまり、借金返済にくらべて新しい借金も増えているために、なかなか累積した借金が減らない流れになっているのです。当然、累積した借金はこのままでは子・孫の世代まで長期間返済が続いていくということを意味します。

実質公債費比率の減少

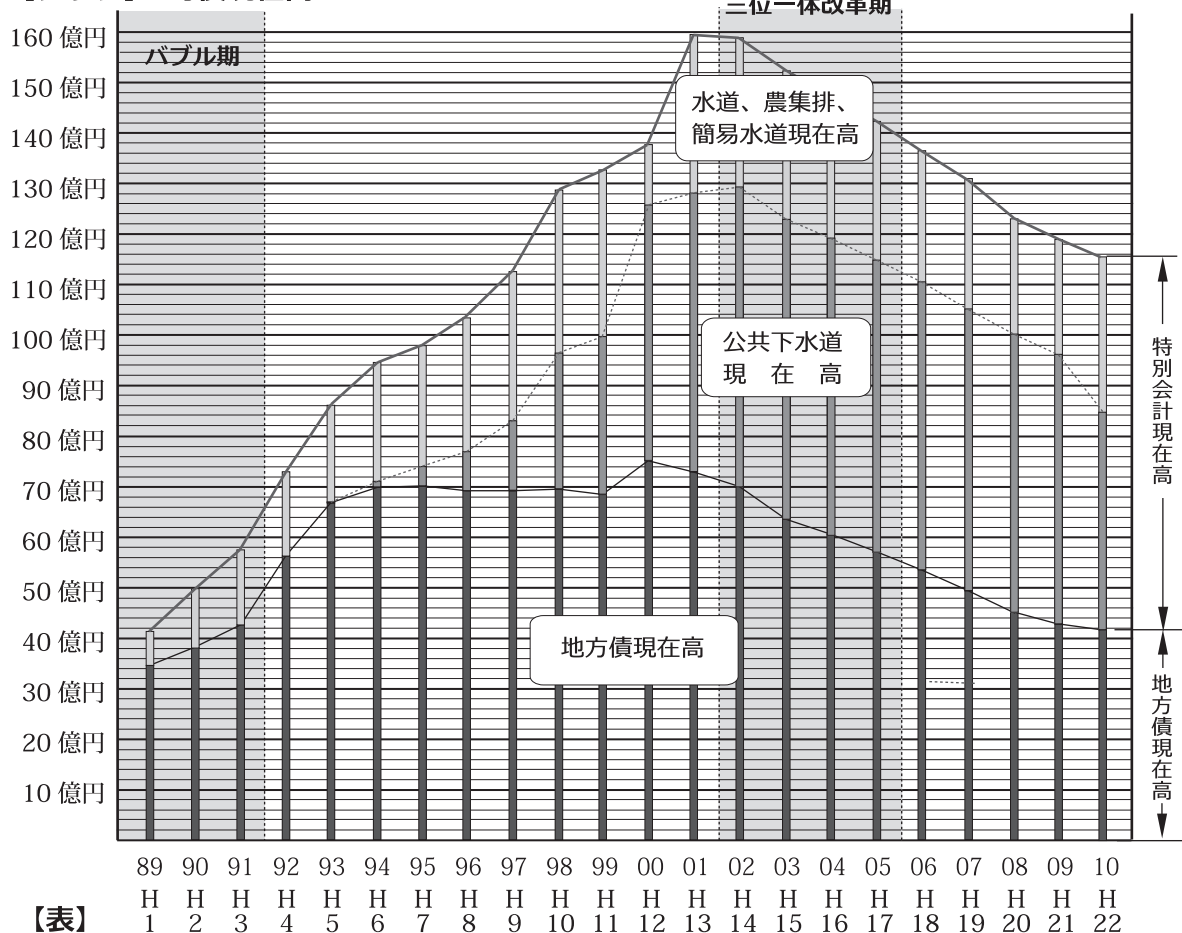
＝財政健全化ではない！

実質公債費比率とは、単純に言えば町の財政規模を分母とした公債費の割合です。地方債を発行した時点で公債費の返済計画は決まっており、実質公債費比率の推移も前町長時代からわかっていたことです。それよりも、新たに町債（臨時財政対策債含む）を発行して、累積債務の返済を先送りしていることの方が問題です。1つの数値だけを見て財政健全化がすすんだと言

えないことは明らかです。また町長は、財政調整基金（貯金）を増やしたことも「実績」としていますが、「何もせずに、借金で貯金を増やしました」と宣言してい

るようなものです。財政についての現状を、事に即して町民に正しく伝えることが、町政をあずかる者の責任ある態度ではないのでしょうか。

【グラフ】 町債現在高



【表】

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
地方債（新規発行）	491,200	376,000	314,900	323,300	281,400	262,600	366,800	432,000	378,000
公債費（借金返済）	1,322,253	841,734	820,905	819,889	798,257	835,768	651,229	593,046	558,748
差 額	831,053	465,734	506,005	496,589	516,857	573,168	284,429	161,046	180,748
実質公債費比率				14.8	18.1	18.6	17.6	15.8	13.6

どう見る？ どうする？ 私たちの池田町 ②

町の 町政の 評価

12人の町民に聞きました

曾根原 鈴美

先日、私の回りの町民のみなさんに現町政への評価を聞く機会がありましたので、ご紹介します。

- ①総合評価
 - ・よくやっている 2
 - ・わからない 7
 - ・ダメ 1
 - ・無回答 2
- ②町民の声を聞く姿勢
 - ・町長の公募で立

4年間の町政を問う

米沢 敏夫

勝山氏が町長に就いて4年近く。この間、彼が実施した政策は何だったのかをみたい。

私が町に移住した頃の池田町は、福祉や教育をはじめ施策は近隣自治体の目標だった。それがいまやどうだろう、他市町村の陰に隠れてし

まった。例えば住宅のリフォーム制度は近隣自治体が実施してからの後追いである。

年頭の挨拶で、積立金の増と借金の返済を誇っているが、筋違いも甚だしい。借金返済の道筋は前町長がつけたものであり、積立金は町民のための政策を考えず何もしなければ積上がるのは当然

- ③美術館
 - 赤字について
 - ・美術館不要 1
 - ・著名作品を呼び入館者を増やす 1
 - ・他に施設を活用（お風呂、結婚式場、メモリアル館など） 4
 - ・不便 3
 - ・自分は無縁 1
- ④立候補者が出たら？
 - ・積極的に町政をすすめる人なら応援 4
 - ・現町政応援 1
 - ・その他 5

で無策を告白したようなもの。「美しい村」連合や「平和市長会議」への加盟も、住民の意見も聴かず「言葉のもつ綺麗さにつられ」て加入しただけで、何をするのか目標もない。北アルプスの姿は変わらないが、田園風景はほとんど都市化している。

町長は就任初町議会で、税金の滞納を指摘されその議員を非難。納税は憲法上国民の義務だ。町長は後日、議場でその議員に

ファンクラブニコース 協力者交流会開く

1月14日、福祉会館

ファンクラブニコースの配達などで協力している会員があつまり、日頃の経験や会員・読者の意見を紹介し合い、今後とも会員・読者との結びつきをもっと広げようと話し合いました。

懇談の中で出された主な意見は次のようなものでした。

- ・ファンクラブニコースは月1回定期に作られ、町の4割以上の世帯に配布されている。これは全国的にも例がなく、高く評価されている。
- ・町政の問題も的確にとりあげており、内容も充実し面白い。
- ・配達するだけでなかなか読者と話ができない。つながりを深める努力をつづけたい。
- ・地域のことばかりではなく、全国の話題な



謝罪したが違憲者は立候補の資格無しと思う。そのうえ、7度挑戦して実施

した町政が右肩下がり、再び任せていいのだろうか・・・。